

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-122230 (P2003-122230A)
 【公開日】平成 15 年 4 月 25 日 (2003.4.25)
 【出願番号】特願 2001-315665 (P2001-315665)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 21/18

G 0 3 G 21/00

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 6

G 0 3 G 21/00 3 9 8

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置に対して着脱可能なプロセスカートリッジであって、
 前記画像形成装置と電氣的に接触接続するための少なくとも 2 つの端子と、
 前記少なくとも 2 つの端子が前記画像形成装置に接続されている場合に、前記少なくとも 2 つの端子を通じて、前記画像形成装置と接触型通信を行うための接触型通信手段と、
 前記少なくとも 2 つの端子が前記画像形成装置に接続されていない場合に、前記画像形成装置又は他の外部装置と非接触型通信を行うべく、前記少なくとも 2 つの端子間に接続された非接触型通信手段と、
 前記接触型通信手段又は前記非接触型通信手段により送受されるデータの少なくとも一部を記憶する記憶手段と、
 を含むことを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 2】

情報処理装置に対して着脱可能な記憶装置であって、
 前記情報処理装置と電氣的に接触接続するための少なくとも 2 つの端子と、
 前記少なくとも 2 つの端子が前記情報処理装置に接続されている場合に、前記少なくとも 2 つの端子を通じて、前記情報処理装置と有線通信を行うための有線通信手段と、
 前記少なくとも 2 つの端子が前記情報処理装置に接続されていない場合に、前記情報処理装置又は他の外部装置と無線通信を行うべく、前記少なくとも 2 つの端子間に接続された無線通信手段と、
 前記有線通信手段又は前記無線通信手段により送受されるデータの少なくとも一部を記憶する記憶手段と、
 を含むことを特徴とする記憶装置。

【請求項 3】

着脱可能なプロセスカートリッジを備える画像形成装置であって、
前記プロセスカートリッジは、
前記画像形成装置と電氣的に接触接続するための少なくとも 2 つの端子と、
前記少なくとも 2 つの端子が前記画像形成装置に接続されている場合に、前記少なくとも 2 つの端子を通じて、前記画像形成装置と接触型通信を行うための接触型通信手段と、

前記少なくとも２つの端子が前記画像形成装置に接続されていない場合に、前記画像形成装置又は他の外部装置と非接触型通信を行うべく、前記少なくとも２つの端子間に接続された非接触型通信手段と、

前記接触型通信手段又は前記非接触型通信手段により送受されるデータの少なくとも一部を記憶する記憶手段と

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項４】

着脱可能な記憶装置を備える情報処理装置であって、

前記記憶装置は、

前記情報処理装置と電氣的に接触接続するための少なくとも２つの端子と、

前記少なくとも２つの端子が前記情報処理装置に接続されている場合に、前記少なくとも２つの端子を通じて、前記情報処理装置と有線通信を行うための有線通信手段と、

前記少なくとも２つの端子が前記情報処理装置に接続されていない場合に、前記情報処理装置又は他の外部装置と無線通信を行うべく、前記少なくとも２つの端子間に接続された無線通信手段と、

前記有線通信手段又は前記無線通信手段により送受されるデータの少なくとも一部を記憶する記憶手段と

を含むことを特徴とする情報処理装置。